

（H24.1.29 改訂）

（H28.4.1 改訂）

（H29.2.7 改訂）

1) 掲載論文の種類

論文は邦文または欧文の総説，原著，臨床経験，その他とする。また，学術集会記録の要旨も随時掲載する。

2) 著者の資格と論文の帰属

a) 主著者および共著者は，北海道整形災害外科学会会員であることを要する。

b) 寄稿論文は未発表であることを要する。

北海道整災外掲載後の論文は北海道整形災害外科学会に帰属し，掲載後は本学会の承諾なしに転載することを禁ずる。

3) 論文の形式

a) 原稿の記載順序は標題，著者名，所属機関名，連絡先住所，メールアドレス，要旨（欧文は Abstract），キーワード，本文，文献，図，表とする。

b) 本文は大項目(1)，中項目(a)，小項目( )のような分け方で書く。

例：(1) 要旨（欧文は Abstract）

(2) 緒言

(3) 方法

(4) 結果

(a) 実験動物

( ) 家兔群

( ) イヌ群

(b) 臨床実験

(5) 考察

(6) 結語

c) 原稿は図，表の基準を次の通りとする。

) 邦文論文は横書きとし，総説，原著 12,000 字，臨床経験その他 6,000 字以内とし，要旨（400 字以内）を添付する。Word 形式で保存されたファイルを受理するが，書式は上記に準ずる。

) 欧文論文は，上下，左右に十分な余白をとり，ダブルスペースで 28 行以内（1 行は 60 打字）とする。論述は 20 枚，臨床経験 10 枚以内，それに Abstract（150words 以内）を添付する。

) キーワードは 3-5 個選び，英語（日本語併記）で付す。

d) 述語は常用漢字，新かなづかいを用い，学術用語は医学用語辞典（日本医学会編）整形外科用語集に従うものとする。数字は算用数字を用い，各単位の表示は国際単位（例：cm，ml，mg）に従う。

e) 図，表は別にして，JPEG、PDF または TIFF の形式で提出する。解像度は 300dpi 以上とする。

f) 論文中の数，外国語，動植物名の使い方は次の通りとする。

) 送り仮名を要する数，または日本語の熟語となっているものは，原則として漢字を用いる。

例：一つ，二つ，二者，三者など。

) 上記以外は算用数字を用いる。

例：1 個，2 個，第 1，第 2 など

) 外国語は原字で，文頭は大文字，文中は小文字（固有名詞は語頭のみ大文字）で表す。ただし，熟知慣用されている外来語，用語についてはカタカナを使用する。

例：インフルエンザ，ヘルニア，インキュベート，エーテルなど

) 動植物名とほぼ日本語化している外国語はカタカナを用いる。

例：ヒト，イヌ，サル，モルモットなど

#### g) 文献

) 文献に引用する論文は重要なもののみとし，30 個以内とする。

) 文献は巻末に集め、国内・海外問わず、引用順に配列する。巻，ページ，年の順序は次の例にならない記載する。また著者名が 3 名以内の場合には，省略せず全員を記載する。しかし 4 名以上の場合は 3 名のみ記載しその後には”他”（欧文の場合は et al.）と記載する。

例：

##### 雑誌

1 . 村山憲太，高田啓一，竹内孝也：Adhesion blocking tube を用いた実験と臨床応用．整形外科，32:1391-1393，1981．

2 . Kimmelstiel, P., Wilson, C.: Intercapillary lesions in the glomeruli of the kidney. Am. J. Pathol., 12:83-97, 1936 .

##### 単行書

3 . 馬杉復三：腎炎その他の研究．腎炎，子澗並に結節性動脈周囲炎の研究．155-127，寧楽書房，東京，1948．

##### 分担筆書

4 . 矢島権八：腎臓の病理，特に内科的腎疾患について．浅野誠一，吉利和編集：腎臓病学，94-272，医学書院，東京・大阪，1959．

##### 双書

5 . Fahr, Th.: Pathologische Anatomie des Morbus Brightii, In: Henke, F. und Lubarsch, O.: Handbuch der speziellen pathologischen Anatomie und Histologie. VI / 1, 156-472, Julius Springer, Berlin, 1925 .

) 欧文誌名の略記法は最新の Journals Indexed in the Index Medicus (U. S. National Library of Medicine) に準ずる。

) 未印刷のものを引用する場合は，印刷中 (in press) のみ認める。これ以外について述べる場合には本文中に著者名 (author) 入れて未発表 (unpublished date) または，私信 (personal communication) として引用する。

) 本文中に著者の名をだして文献を引用するときは，著者の数により次の例にならって記載する。

例：1 名の場合：田中 8, 9), Tanaka 3, 5)

2名の場合：田中・橋本 9), Tanaka and Hashimoto 7)

3名以上の場合：田中ら 5, 11-14), Tanaka et al. 2, 16-21)

) 欧文論文の文献にだす日本語論文は標題を欧訳し、雑誌名はローマ字で書き、次の ( ) 内に欧訳を入れる。末尾に ( in Japanese ) とする。

#### 4) 投稿, 編集, 刊行

- a) 本誌は毎年2回, 8月, 3月に発行する。
- b) 論文(表紙, 本文(図・写真・表およびそのタイトル・説明文を含む), 文献, 要旨)を事務局へ提出する。
- c) 論文原稿は原則返却しない。
- d) 論文の採択および編集については, すべて編集委員会で行う。論文審査の結果, 修正を求めることがある。邦文論文の英文抄録および欧文論文の校正を著者が希望する場合もしくは編集委員会で校正を必要と認めた場合は, 欧文翻訳者に編集委員会より校正を依頼する。その場合, 実費を著者に請求する。
- e) 初校は著者が行う。著者の校正は脱字, 誤植の訂正のみにとどめ, 原図, 表の差替え, 原文の変更もしくは追加は認めない。
- f) 別刷は原則として30部を作製, 実費を請求する。それ以上の別刷を希望する場合は, 原稿の標題の上に明記する。
- g) 論文の投稿時には, 別紙, 投稿論文チェック表および誓約書・著作権委譲承諾書, 利益相反自己申告書を添えて提出する。
- h) 他誌に掲載されたデータ(図・表も含み)を使用する際には, 必ず掲載許可を該当する出版社, もしくは編集者より取得し, 論文投稿時に提出すること。
- i) 本誌に掲載されたデータ(図・表も含み)を他誌で使用する際には, 必ず, 別紙 転載許可申請書を本学会誌編集委員長に提出し, 転載に関する許可を得ること。
- j) 編集, 刊行, 投稿料, 別刷料については下記の原稿送付先に連絡のこと。
- k) 原稿はE-mailにて, 下記事務局まで送信のこと。容量が大きくEメールでの送信が困難な場合, 電磁媒体を郵送にて提出する。

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル  
株式会社毎日学術フォーラム内  
北海道整形災害外科学会事務局 maf-hokuseikai@mynavi.jp